

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公表番号】特表 2012-504255 (P2012-504255A)

【公表日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2012-007

【出願番号】特願 2011-529009 (P2011-529009)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/02 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/02 B

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 1/40 D

G 0 6 T 1/00 5 1 0

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソフトブルーフを第 1 の照明の下で見たハードコピーブルーフと比較するときに、照明の効果を補償する方法であって、

印刷色のセットに対して、標準照明に対応する装置に依存しない色データを獲得するステップと、

前記印刷色のセットに対して、前記第 1 の照明に対応する装置に依存しない色データを獲得するステップと、

標準照明に対応する前記装置に依存しない色データ及びディスプレイに対応する色データから構築されたディスプレイプロファイルを使用して前記印刷色のセットを前記ディスプレイにレンダリングするときに、前記ディスプレイ上で測定されるべき第 1 の装置に依存しない色データを各色に対して推定するステップと、

前記ディスプレイプロファイルが調整されたら、前記ディスプレイ上で測定されるべき第 2 の装置に依存しない色データを推定するステップと、

前記標準照明に対応する前記印刷色に対して、前記第 2 の装置に依存しない色データと前記装置に依存しない色データとの間の差を計算するステップと、

線形色空間において選択的線形補正を適用することにより、前記差における低減量を計算するステップと、

前記選択的補正を適用することにより達成できる最小誤差を計算するステップと、

前記差を低減するように前記ディスプレイプロファイルに前記選択的補正を適用するステップと、

を包含する、方法。

【請求項 2】

前記獲得ステップが、前記印刷色のセットにおける各印刷色に対する反射率スペクトルを決定するステップと、前記標準照明及び前記第 1 の照明を使用して前記装置に依存しない色データを計算するステップと、を包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 の照明に対する前記装置に依存しない色データが、直接放射スペクトル測定から計算される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記獲得ステップが、前記標準照明又は前記第 1 の照明のいずれかに対応するプロファイルから、前記装置に依存しない色データを決定するステップを包含する、請求項 1 に記載の方法。